

先進地事務調査（案）について

1 目的

令和 8 年度芽室町議会活性化計画主要事業（令和 7 年度第 29 回議会運営委員会決定・令和 7 年 4 月 22 日開催）に掲げる主要 3 項目のうち、「議員間討議を前提とした政策サイクルの再起動」に係る活性化策である「常任委員会における代表質問制度の導入検討」及び「議会 DX の推進」に係る活性化策である「生成 AI 活用についての検討」について、先進地の取組を調査研究するもの。

2 視察先及び調査内容

（1）別海町議会

別海町議会では、「一般質問検討会議」の運営手法及び効果について調査するとともに、生成 AI を活用した「一般質問作成支援システム」の実践について視察を行う。

一般質問の質の向上及び政策立案能力の強化につながる仕組み、生成 AI の活用方法、運用ルール等を把握し、本町議会における議会機能の充実及び議会 DX の推進に向けた今後の取組の参考とする。

（2）中標津町議会

中標津町議会では、「委員会代表質問」の導入経緯、制度設計及び運用状況について視察を行う。

常任委員会の調査研究成果を政策提言へ結び付ける仕組み、運用上の課題、導入による効果等を把握し、本町議会における常任委員会の機能強化及び政策形成機能の向上に向けた検討材料とするとともに、委員会活動のさらなる活性化につなげる。

3 日程

令和 7 年 10 月

4 予算（概算）

353 千円

内訳：費用弁償 111 千円、職員旅費 14 千円、バス借上料 228 千円